

開かれた犯罪心理学の研究と実践①

「差別・偏見」の研究を識る

現在の犯罪心理学は、研究対象としている領域が広く、様々な研究成果を生み出しています。ただ、これら成果が、司法・矯正などの公的機関における限定的な情報となり、他分野の心理学者や研究者に、なかなか伝わらないことが指摘されています。一方、日本犯罪心理学会の多くの会員も、他領域の心理学研究に対しては、あまり関心を示していないのが現状ではないでしょうか。そこで今回の研修会では、犯罪心理学研究やそれに基づく実践を、社会により開かれたものとするため、他分野の心理学的知見や手法を学ぶことを目的としました。まず、基調講演の社会心理学者、北村英哉先生からは、最近の犯罪事象において見逃せない「偏見・差別」に関する研究知見を中心にお話をいただきます。次に、この「差別・偏見」に触れながら、シンポジストの各先生より今後の研究の可能性などについて、それぞれ言及していただく予定です。犯罪事象は、時代の変化と共に変容しており、それに見合った犯罪心理学が社会から求められています。他分野の心理学研究知見を取り入れ、開かれた犯罪心理学研究と実践のヒントを模索できればと考えています。ぜひ、ふるってご参加ください。

日時

2022年 7月3日（日） 10:00～17:00

内容

第1部 **基調講演** 北村 英哉(東洋大学)

第2部 **シンポジウム**

話題提供 緒方 康介(大阪公立大学)

話題提供 吉川 肇子(慶応義塾大学)

話題提供 宮中 大介(株式会社ベターオプションズ)

指定討論 渡邊 和美(科学警察研究所)

司 会 桐生 正幸(東洋大学)

方式

オンライン方式（Zoom利用による同時配信）

参加費

2,000円

定員

90名 ※ 定員に達し次第、受付を締め切らせていただきます。

申込

【注意】ご参加は、本学会の会員に限ります。また、事前のお申込みが必要です。

お申込みは、日本犯罪心理学会のHPから行えます。所定のフォームに必要事項を入力の上、送信してください。申込期間は4月18日（月）～5月31日（火）です。本研修会の詳細は、<https://www.jacpsy.jp/training/> を御覧ください。

※ 本研修会は、臨床心理士研修ポイントを取得できる対象です。

（日本臨床心理士資格認定協会が認める関連学会での諸活動に該当）



お問合せ

本研修会に関するお問合せは hanshin_kensyu@aol.jp まで